

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20年 6月 20日

【評価実施概要】

事業所番号	1271600544		
法人名	医療法人社団 昭桜会		
事業所名	グループホーム サクラピア成田		
所在地	〒286-0022 千葉県成田市寺台251-2 (電話) 0476-23-5767		
評価機関名	NPO法人 ヒューマン・ネットワーク		
所在地	千葉県船橋市丸山2-10-15		
訪問調査日	平成20年6月5日	評価確定日	平成20年6月20日

【情報提供票より】(20年5月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 18年 3月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	13 人	常勤 5人, 非常勤 8人, 常勤換算	5

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り		
	2階建ての 1~2階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000 円	その他の経費(月額)	20,000 円
敷金	0		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(260,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,500 円		

(4) 利用者の概要(5月1日現在)

利用者人数	名	男性 3名	女性 3名
要介護1	5	要介護2	1
要介護3	0	要介護4	0
要介護5	0	要支援2	0
年齢	平均 82歳	最低 76歳	最高 89歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	昭桜会桜台メディカルクリニック 隆世会野沢歯科医院
---------	---------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

施設は成田山新勝寺に近く、成田空港に向かう幹線道路から少し入った住宅地の中にある真新しい感じの2階建ての建物である。2ユニットの造りであるが、現在は1ユニットのサービスを行なっている。理念としている、「もてなし、快適さ、楽しさ」のもとに地域密着型の施設として認知症ケアの拠点作りを目指している。2年目の今年度の活動の方針は1)家族的な雰囲気作り、2)従来の施設のイメージを払拭する、3)利用者の生活の足りない部分を補う、4)笑顔の絶えない生活、5)地域との協力関係強化、の5つを挙げている。ホーム長始め職員は地域との交流を大切にして、利用者への充実したサービスの提供に情熱を燃やして取り組んでいる。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回指摘の5件は全て対策をたてた。1)地域交流を増やす事では、自治会と空港通り活性化協議会及び消防団に加入して活動した、2)運営推進会議は初めて開かれた、3)利用者の充足では、近隣自治体の入所もあり利用者が増えた、他2件も全て改善がなされた。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目	自己評価は職員と話し合っまとめた。その中から1)地域との繋がりを深める、2)外部研修でユニット研修などの参加を増やす、3)グループホームの機能充実(2ユニット)、4)他のグループホームとの交流を増やす、などの重点活動項目を決めて取り組みをしている。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
重点項目	一回目の運営推進会議が開かれた。参加者は、市役所から1名、地元自治会関係者4名、家族1名、施設2名の合計8名が出席している。テーマは外部評価等の説明及び施設見学を行なった。自治会から祭りへの参加を呼びかけられて、利用者全員で参加することが決められた。又関係者が施設を見学した事により、地域のグループホームとして提供しているサービスへの理解を深めてもらうことが出来た。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
重点項目	毎月家族に知らせるサクラピア通信の内容から、家族は今までの生活習慣との違いや、かかりつけ医の話等を比較して相談しているが、施設は具体的に説明して、安心できるように利用者へのサービスに反映している。例えばカロリーをコントロールする要望では、低カロリー食に変えて美味しく食べられるようにした。家族の要望を重視して応えている。
	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	地元自治会に加入して、自治会の祭りに揃いの法被を用意してもらい参加することが決まった。消防団にも加入をしている。又成田空港通り活性化協議会に加入して施設もごみ拾いの行事に参加予定である。成田山祇園祭りには今年も見学予定である。地域との繋がりは大きく広がってきた。今後は学校関係とも接する機会を得られるよう考えている。

2. 評価結果（詳細）

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	施設は「もてなし、快適さ、楽しさ」を理念としている。グループホームサクラピア成田は、地域密着型の施設として、利用者・スタッフ・家族・地域・行政が一体となり認知症ケアの拠点作りを目指している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は玄関、事務室に掲示し周知を図っている。「もてなし」は職員が皆でこころがけ、「楽しさ」は利用者との会話の中から、「快適さ」は利用者本位に。この考えをもとに理念の実践に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入して地域と交流をしている。自治会の7月の祭りではそろいの法被を用意してもらい参加を楽しみにしている。又成田山祇園祭りの見学を予定している。成田空港通り活性化協議会でも活動しており、今年はごみ拾い運動に参加の予定である。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は職員と話合ってまとめた。1) 地域との繋がりを深める企画、2) 外部のユニットケア研修などに参加、3) 2つのユニット充足とサービスの向上、4) 他のグループホームとの交流、を重点活動目標として取り組む考えである。	○	意欲的に取り組みたい事を上げて、重点活動目標を決めているが、まだ実行計画はまとめられていない。具体的な方途をつめて活動の成果を出すよう期待する。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>初めての運営推進会議が開かれて、市役所、自治会から4名、家族、施設2名が参加した。外部評価の報告と施設の説明をし見学をしてもらい地域の理解を深めた。自治会の祭りへの参加が話し合われて法被を用意してもらえるようになった。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市とは随時、運営について協議している。市の介護相談員とは、来所時に、市とのパイプ役として状況を話し合っている。又グループホーム連絡会等に、市の担当者が参加しており情報を交換している。</p>		
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族の訪問の折には、ホーム長が可能な限り会って状況を話している。施設からは、全員に毎月サクラピア通信で状況を伝え、お金の使用内容も品目ごとに数字の説明をしている。質問に対しては家族が安心出来るように細かに説明をしている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>大きな苦情はないが、家族の相談は、その都度、介護日誌に記録されるとともに、毎日のミーティングで職員は確認している。カロリーをコントロールする要望では、低カロリー食に変えるなど施設が出来る事は直ぐに実施して要望に応えている。</p>	○	<p>相談ごとには、可能な限り対応している事が確認出来たが、処理をした記録が残っていない。今後は家族に説明した事も含めて記録するよう希望する。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>新しく採用したばかりの職員が多く退職者はいない。職員とはカンファレンスなどでの話し合いを重視している。日々の引き継ぎにおいても、ホーム長のもとで必ず行なうなど職員が一体となって働けるよう心がけている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>昨年度は、身体拘束廃止、認知症の講演会、救命講習会などの研修に参加したが今年度は更にユニットケア研修、キャラバンメイト養成研修への参加をを計画している。内部研修では新人を1ヶ月間先輩が指導するなど職員の育成に取り組んでいる。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>市内のグループホーム連絡会に参加している。見学会の時は管理者のほかにも職員も参加して同業者の優れた所を学んでいる。法人内の施設の交流会では、職員も参加してアセスメントの取り方などを学んでいる。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用者の入所までの取り組みは、まず、自宅を何度も訪問して長時間話しながら気持ちをつかみ、その後体験入所を3日間実施している。職員が度々自宅を訪問することによって、入所後も知り合いの人がここにいると安心感を持ってもらうことにより定着に結びつき良い結果が出ている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者が安心して話せる雰囲気づくりに心がけ、職員と利用者の日頃の会話やホーム長の居室訪問などにより利用者の気持ちを和ませる工夫をしている。また、レクリエーションや趣味の活動などは、とても楽しいひとときになっている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者の思いや希望は、アセスメントの段階や日頃の会話を通じ把握するように努めている。日々の生活の中で買物、草取り、茶碗洗い等をしたいたの訴えに対して臨機に対応している。意思疎通の困難な者については家族の説明を頼りにしている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>計画担当者（ケアマネ、看護師）が中心になり、管理者、職員が参加して策定している。入所時には、独自に様式を定めたフェースシートに家族の意見をも記入している。計画書にはニーズごとに、目標、期間、援助の内容、担当者、頻度、期間が明瞭に記載されている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画は、毎月ケアマネ、管理者、ホーム長、介護職員が参加したカンファレンスにて見直しを行なっている。見直しの内容は、援助の内容の変更程度の者が多い。急変で緊急に計画を変更した例はないと述べている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>18名規模で受け入れ可能な建物であるが、利用者数が前年同期3名のところ6名には増えてるが、ユニットとして充分機能しきれていないと見られる。病院や遠出の買物は、6月からは、有料により職員が付き添う方法で対処することとしている。</p>	○	<p>グループホームは、一定の規模をもって、利用者がお互いに協力しながら充実した生活を過ごすことをねらいとしている。この観点から、現員を更に超えて、可能なならば休業状態の2階についても充足し、機能を十分に発揮されることを期待する。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>主治医は法人理事長が当り、2週間に1回診察している。症状が重い者は、家族が同伴し説明を受けている。施設は、その結果を要約した書面を必ず作り個人の介護記録に貼付し情報を共有している。また、看護、介護サマリーを全員分作ってある。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化や終末期の意向は、入所時に良く家族から聴くようにしているが、ターミナルケアは、現在のところは難しい要素が多く医療連携加算の認定を受ける予定もなく、実施していない。職員の考え方も統一されている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個人情報の保護については、玄関に要領よく取扱の方法が記載されたものを掲示している。プライバシーについては、日常生活において、ドアのロックや言葉づかいに注意するとともに、更衣、入浴、排泄の介助時には特に配慮している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>1日の日課は基本的には、全員が同じになっているが、入浴は、希望を聞いて実施している。また、日中、何をするかについては、その都度本人の意思を確認して趣味の活動や屋外へ出たり、それぞれの希望に添って支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	従来は、施設内で調理する部分が多かったが、5月からは、3食とも外部で調理する方法に切り替えている。したがって、利用者は職員と一緒に食事の準備をしていたものが、今は食事の盛り付け、下膳、食器洗いの手伝い等に限られて関与している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は基本的に週3回としているが、利用者個人個人の希望を聞いていつでも可能なように対応している。毎日時間は午前から夕食後まで可能としている。最近、入浴は、時間帯で、男女を分離するように皆の意見を取り入れて改善している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日々の生活には、ぬいぐるみ、籠作りなどの趣味活動を行ったり、ゲーム、歌、職員のピアノ演奏などを楽しむなど変化を持たせた生活を考えている。役割はカーテンの開閉など小さな事が多いが、意外と張り合いになっているようである。	○	利用者が、張り合いのある日々を過ごすために、生活に変化を持たせる努力をしているが、更に工夫次第では、充実した内容が見込める分野なので、一層、リズムのある生活をすすめる努力を期待する。
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	施設の敷地の中に広いスペースがあり散歩は毎日行っている。買い物は毎週2回職員が付き添って出かけている。通院は職員が同行している。	○	外出は職員の付き添いが必要なため大変と思うが、要望に応える為に家族にも協力を呼びかけて、更に外出の機会を増やす取り組みを期待する。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	正門は鍵をかけていない。施設の入り口も職員がフロアーにいる間は鍵をかけていない。鍵をかける時には、インターホンで外来者と対応している。居室では鍵をかけないでのびのびと生活している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>施設は、火災受信機、火災通報装置が設置してある。又窓には防災カーテンが使用されている。年2回5月、10月に自衛消防訓練を実施、避難訓練をも行なっている。</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事の献立は外部の栄養士が作っている。栄養のバランスに配慮し、早速カロリー数を減らした食事にするなど状況を見極め調整している。水分補給は、定期的に行なっている。体調の悪い時には、度々補給しているので、その時間、量を記録している。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>新しい施設であり屋内はいずれも明るい。リビングは、ソファを利用者の状態に合わせて移動させてあるので、床が目立つ情景になってはいるが、季節の花や作品の展示などを行ないゆったりと過ごせる環境にしてある。玄関廻りは、絵の額などを飾り暖かみをだす工夫をしている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は、ベットのほかに家庭で使われていた親しみのある筆筒などを持ち込んでいる。生活歴が知れる写真が展示されたり、位牌がまつられている部屋もある。清掃も行きとどき居心地良さそうである。空港に近いが、騒音はあまり気にならない。</p>		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。